

★漢方あれこれ★

◆華陀◆

外科の元祖、魏の曹操に仕えた名医

太田 順康

華陀とはもともと、先生という尊称ですが、それがそのまま名前になった特異な医師。沛国の人、字は元化、またの名を冑といった。

各種の方術にも通じ、不老長生の術にも精通していたと言われる。

少数の薬を使い、鍼灸も1, 2カ所鍼したり、灸したりして病気を直していたようです。



ただ病気が身体の中の方に有り、薬や鍼の届かない時は酒で麻沸散を飲ませ、酔って知覚が無くなると、腹や背中を切開して病根を切り取って治療したようです。

華陀のこのような治療は中国の正史「後漢書」の方術伝の華陀伝に7例、「三国志」の方技伝の華陀伝に15例が記載されています。

魏の皇帝曹操に召しだされて君側に置かれていた。曹操の頭風眩（頭がしびれめまいがする）に鍼すると即座に治った。もともと人に縛られることの嫌だったし、身分の低い者がする医業をしていることを恥かしく思っていたりして、また長く郷里に帰っていないこともあって、方術書を取りに行くことと曹操に許しを請い郷里に帰り、妻が病気で帰れないと云って数年間戻らなかった。曹操が何遍も呼び戻す使者を送っても帰らずにいたが、妻の仮病がばれて曹操の怒りを買って殺されてしまった。

ために曹操の頭風は治らず、息子の倉舒が病気になっても治療できず13歳で亡くしてしまいました。華陀を殺したことを悔やんだそうです。

華陀の発明したと言われるものに「五禽の戯」があります。



虎、鹿、熊、猿、鳥の形や動きをまねた体操です。病を除き、足の働きを良くし健康で長生きできると言われ、華陀体操として今に伝わっています。

これについては余り詳しくないので記述はしませんが、ネットで華陀体操で検索すると色々出て来ます。

また水虫の薬の「華陀膏」も彼の名前を借りた製品で、彼が作った軟膏ではないようです。

医業が身分の低い人の業と云うのは納得いきませんが、昔はそうだったのでしょうか？

現在にも名義貸しや、薬売りのような医師もいますが、少数だと思っています。

(つづく)

お知らせ

春禪洞

すこやか教室 山歩き

曜日と時間：毎週金曜日 10:30～

参加：無料

お茶など飲み物を持参

<7月の予定>

暑い夏の到来！しかし今年はどうでしょうか？6月、日本列島は局地的に豪雨だったり暑かったり。岐阜は例年より小雨で気温も低く、作物の成育が心配なお天気でした。安定したお天気でありますように。

お茶など飲みものを忘れずにご持参ください。

3日(金) 10日(金) 17日(金)

24日(金) 31日(金)

☆雨のときは、中止します。

§漢方相談日

(担当 太田順康：日本漢方交流会認定漢方終身師範。岐阜県漢方研究会会長。岐阜薬科大学「漢方学」講師) 今月の漢方相談日は、下記のように。

6日(月) 13日(月) 27日(月)

§7月の休診日

21日(月) 海の日

よろしく願いいたします。

§今年度の健診予定

お手元の受診券をご持参の上、お越しください。

◎特定健康診査：6月1日～10月31日

<対象者>

- ・岐阜市国民健康保険加入者
- ・1940(昭和15)年11月1日～1976(昭和51)年3月31日生まれの方
- ・自己負担金：800円

◎ぎふ・すこやか健康診査：

9月1日～11月30日

<対象者>

- ・後期高齢者医療制度に加入の岐阜市民の方
- ・自己負担金：500円